

連携提案: 地域教材を活かした、小学校の授業づくり

キーワード: 地域教材、教育方法、教育課程、教育評価

学校教育学系

岡田 広示 Okada Kouji

連携提案内容と効果

私は22年間、兵庫県の公立学校に教師として勤務してきました。その間、目標・評価にこだわり、地域教材にこだわり指導を行ってきました。

各学校には、その地域の自慢があります。その自慢を活かして学年に応じた教材を各教科で開発していきます。子どもたちは自分たちの住んでいる地域の身近なことが教材として取り上げられると、学習課題を「我が事」として捉えていきます。

また地域教材を教育課程の中に組み込むことで、教科を横断的に指導することができます。今次改訂の学習指導要領でもカリキュラム・マネジメントがあげられています。地域教材を、どのように生かしていくかが大事です。

そして学校教育には目標と評価が必須です。目標・評価のメカニズムを理解することで教師の授業は劇的に変わります。

今後は、学校教育や社会教育に関連した自治体・NPO・企業等と連携を図り、地域振興や人づくりに関わっていきます。

地域教材の洗い出

教育課程の編



具体的な授業へ

見える評価活動へ

アピールポイント

講演活動、研究会の開催、ワークショップを取り入れた教職員研修会、各教育雑誌への執筆などを行っています。

連携したい分野

地域教材を活かした授業づくりをしたい学校。
特色ある教育課程を作成したい学校。
目標・評価を軸に授業改善を行いたい学級。
学校教育・社会教育に関連する自治体・NPO・企業等

研究テーマ:

プロフィール	1997年より2019年3月まで兵庫県の公立学校で勤務。同2019年4月より上越教育大学教職大学院教科教育学級経営実践コースに所属。教育評価、教育カウンセリングを軸とした実践を重ねる。	専門分野	教育方法(教育課程論、教育評価論)
関連URL		主な研究内容	

関連する業績等